

モデルコース①「噴火と遥拝」 自然と富士山の偉大なる力を体感コース 1/2



山宮浅間神社(銚立石)




白糸の滝



富士山本宮浅間大社(銚立石)



静岡県富士山世界遺産センター

<p>コース特徴</p>	<p>世界文化遺産「富士山」の構成資産を巡るとともに、自然・水・参拝・ニュースポット(静岡県富士山世界遺産センター(平成29年12月23日開館))等の要素で構成されたコース</p>
 <div data-bbox="224 1061 728 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>行程表の表示 …… 主に徒歩による移動を想定 ==== 車等による移動を想定</p> </div>	<p>各地=====山宮浅間神社(社殿を持たない神社・遥拝所・銚立石)===== ※富士山を直接遥拝する遥拝所がある神社</p> <p>=====白糸の滝(名水百選・富士講の祖:長谷川角行修行の地)===== ※雄大な富士山の雪解け水が流れ落ちる、いにしへの修験者の修行の地</p> <p>=富士山本宮浅間大社(全国1300余りの浅間神社の総本山・湧玉池・銚立石)… ※古代の噴火を鎮めたとされる神社と、その溶岩の間から湧く、美しい湧き水の池</p> <p>……静岡県富士山世界遺産センター……お宮横丁 ※1階から5階を繋ぐ螺旋スロープの壁面には、富士登山をイメージできるような映像を見ながら、疑似登山体験が可能</p>
<p>キーワード「噴火と遥拝」</p>	<p>古来、富士山麓では、富士山に対する展望を意識して集落や祭祀の場が形成されていました。8世紀から9世紀頃、人々は度重なる噴火を、火の神「浅間大神」の怒りと考えました。それを鎮めるために山麓から山頂を仰ぎ見て崇拜する「遥拝」の習慣が生まれ、各地に遥拝所(このコースでは、山宮浅間神社)が設けられました。</p>
<p>移動手段例</p>	<p>マイカー／周遊バス</p>

関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
山宮浅間神社	静岡県富士宮市山宮740	新東名高速道路・新富士ICから約25分 ※山宮浅間神社案内所開館は、土日祝日の10時～15時 (年未年始、休館)
白糸の滝	静岡県富士市上井出273-1	JR富士宮駅から車で約20分、バスで約30分(白糸の滝観光案内所前バス停下車徒歩約10分)
富士山本宮浅間神社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
静岡県富士山世界遺産センター ※平成29年12月23日開館	静岡県富士宮市せせらぎ 広場及び周辺地	外部リンク 静岡県ホームページ http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html
お宮横丁	静岡県富士宮市宮町4-23	※駐車場なし(富士山本宮浅間大社の駐車場、富士宮市宮神田川観光駐車場等をご利用ください。)

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



山宮浅間神社
遥拝所から拝む富士山

本コースにおける世界遺産構成資産

・山宮浅間神社(構成資産3) 富士山本宮浅間大社の前身で、社殿の代わりに遥拝所が設けられ、富士山に鎮火の祈りを捧げたといわれています。

・白糸の滝(構成資産24) 富士山の火山層からの湧き水が流れ出る名瀑。長谷川角行(富士山信仰「富士講」の祖)が人穴に入る前に身を清めた地とされ、富士講信者の巡礼の場ともなりました。

・富士山本宮浅間大社(構成資産2) 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると)806年に現在の地に社殿を移しました。